



ソーラーキットの暮らし方ガイド

お手入れ編

SC-V3

換気空調：換気システム (SC-V3)

SC-V3

目次

| | | |
|--------|-------------------------------------|---|
| 換気システム | 清掃前の安全のために必ず守ること | 2 |
| 換気システム | お手入れの時期(お知らせ機能) | 3 |
| 換気システム | 排気グリルのお手入れのしかた① | 4 |
| 換気システム | 排気グリルのお手入れのしかた② | 5 |
| 換気システム | 給気口フィルターのお手入れのしかた (P-13KQU Φ100) | 6 |
| 換気システム | 給気口フィルターのお手入れのしかた (P-18WQU Φ150) | 7 |










換気システム 清掃前の安全のために必ず守ること

SC-V3

安全のために必ず守ること

注意事項

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

|  警告 | |  注意 | |
|--|--|---|---|
| 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの | | 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの | |
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●ガス漏れに気付いたときは、セントラル換気ファンのスイッチを入・切しない (爆発・引火の原因) |  禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない (本体・部品の落下によるけがの原因) ●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない (火災の原因) |
|  水ぬれ禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない (ショート・感電の原因) |  接触禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物をいれない (けがの原因) |
|  分解禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●改造や工具を必要とする分解はしない (火災・感電・けがの原因) 分解・修理は修理技術者のいる販売店にご相談ください。 | | |
|  指示に従う | <ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る (感電・けがの原因) ●交流 100V を使用する (火災・感電の原因) |  風呂・シャワー室での使用禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気の多い場所では使用しない (感電・故障の原因) |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する (発煙・発火・感電・けがの原因) 〈異常・故障例〉 ●スイッチを入れても羽根が回転しない ●回転中に異常音や振動がする ●回転が遅いまたは不規則である (モーターはメンテナンスが必要な部品です) ●こげ臭いにおいがする ●本体据付部に腐食・破損があるなど ※すぐに分電盤のブレーカーを切って、販売店へ点検修理を依頼してください |  指示に従う | <ul style="list-style-type: none"> ●電気工事は必ず電気工事店に依頼する (感電の原因) ●お手入れ後の部品の据付けは確実に (落下によるけがの原因) ●お手入れの際は手袋を着用する (けがの原因) |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ●長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る (絶縁劣化による感電・漏電火災の原因) |

●特長

セントラル換気ファン (SC-V3) は 24 時間換気を行うことにより、給気口から新鮮な空気を取り入れ室内空気環境の悪化を改善します。

〈24 時間換気について〉

建材や家具から発生するホルムアルデヒド等の化学物質、居室の中に発生する汚染物質や臭気を排出するために、必要換気風量で 24 時間換気します。ただし、24 時間換気を有効に行うには居室に専用給気口の設置による空気の流通経路の確保が必要です。

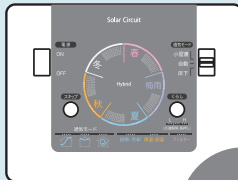
〈24 時間換気の効果〉

- ①建材や家具から発生するホルムアルデヒド等の化学物質を滞留させず、給気口から新鮮な空気を取入れます。
- ②居室の中に発生する炭酸ガスなどの汚染物質や臭気を排出し、新鮮な空気を補給し、空気のよどみを解消します。
- ③居室内の湿気を排出し、結露を防止してカビ・ダニの発生を抑制します。

換気システム お手入れの時期(お知らせ機能) SC-V3

①TS-200の場合 フィルターランプが点滅したら

確認



年4回
フィルターランプが点滅して
フィルターの清掃を促します。



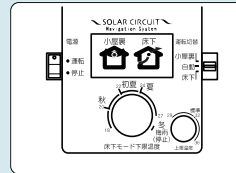
点滅期間 (10日間)

| | |
|---------|--------|
| 春になる頃 | 梅雨のなかば |
| 秋が近づいた頃 | 年末 |

●フィルターランプの点滅にかかわらず、
室内の排気グリルや給気ユニットの清掃は
2ヶ月に1回以上の清掃が好適です。

②TS-100の場合

確認



フィルターランプのお知らせ
機能はついておりません。

●室内の排気グリルや給気ユニットの清掃
は2ヶ月に1回以上の清掃が好適です。

③上記TS-200及びTS-100が ついていないの場合

確認

●室内の排気グリルや給気ユニットの清掃
は2ヶ月に1回以上の清掃が好適です。

排気グリルのお手入れのしかた①

SC-V3

- ⚠ 警告** ●お手入れの際は必ず壁スイッチ・ブレーカーを切る。
- ⚠ 注意** ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。
●お手入れ後の部品の取付けは確実にを行う。

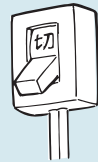
排気グリルは約2か月に1度を目安として清掃をお願いします。

①換気システムの壁スイッチ・ブレーカーを切る 操作

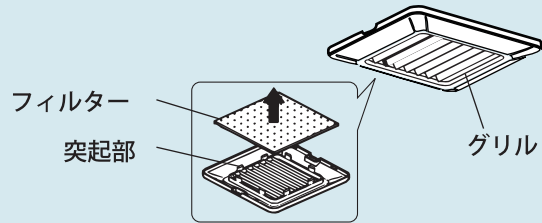
1. 壁スイッチを「切」にする。
ランプは消灯します。



2. ブレーカーを「切」にする。



③グリルからフィルターを取り出す 分解

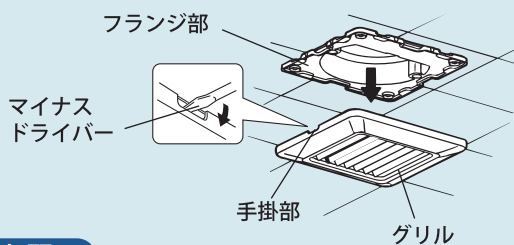


お願い

- フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。

②グリルをはずす 分解

グリルやフィルターにほこりが付着すると風量低下や異常音発生の原因となります。

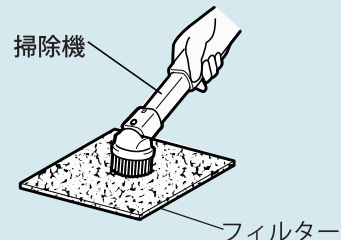


お願い

- グリルをはずす際は、クロスなどを傷付けないように十分注意してください。

④フィルターの清掃をする 清掃

軽く手でたたくかまたは掃除機でほこりを吸い取ります。



排気グリルのお手入れのしかた②

SC-V3

- ⚠ 警告 ●お手入れの際は必ず壁スイッチ・ブレーカーを切る。
- ⚠ 注意 ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
- お手入れの際は手袋を着用する。
- お手入れ後の部品の取付けは確実にを行う。

排気グリルは約2か月に1度を目安として清掃をお願いします。

⑤汚れがひどい場合は
清掃

汚れのひどい場合は水またはぬるま湯（40℃以下）に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かしてください。

お願い

- 押し洗いをした場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。熱湯で洗ったり、もみ洗いは絶対におやめください。
- 直接火気を使用して乾かしたり、ドライヤーなどで温風をあてて乾かすことはしないでください。
- お手入れには下記の溶剤等を使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ溶剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等
けんま材入の洗剤（変質・変色する原因になります）

⑧換気システムの壁スイッチ・ブレーカーを入にする
操作

1. ブレーカーを「入」にする。

2. 壁スイッチを「入」にする。
ランプが点灯します。

交換用排気グリル用フィルター
型名：P-05F

※初期搭載品とは材質が異なります。
(2枚/1セット)

⑥グリルの汚れを清掃する
清掃

グリルの汚れは中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。

⑨TS-200の場合、フィルターランプの点滅を解除する
操作

点滅解除はくらしボタンを5秒以上長押し

- TS-100の場合やいずれのスイッチもついていない場合は上記操作は不要です。

⑦フィルター・グリルを元通り取付ける
取付

お願い

- フィルターがないと壁や天井が汚れる原因となりますので、取付けを忘れないようにしてください。

給気口フィルターのお手入れのしかた (P-13KQU Φ100用)

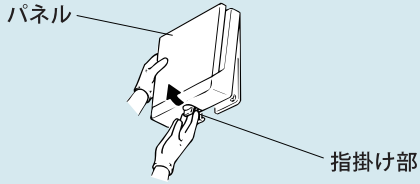
SC-V3

⚠️注意 ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。
●お手入れ後の部品の取付けは確実にを行う。

給気口フィルターの清掃は2か月に1回以上お願いします。

①パネルを取りはずす 清掃

パネルを取りはずす。
パネルの下部の指掛け部に指を掛け、手前に引いて引掛け部を上側にずらしてははずします。

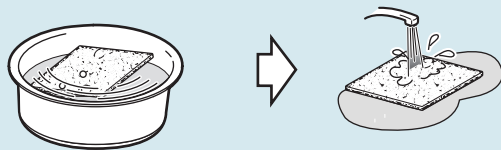


パネル

指掛け部

④汚れがひどい場合は 清掃

汚れのひどい場合は水またはぬるま湯 (40℃以下) に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かしてください。

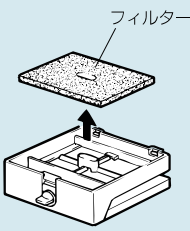


お願い

- 押し洗いをした場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。熱湯で洗ったり、もみ洗いは絶対におやめください。
- 直接火気を使用して乾かししたり、ドライヤーなどで温風をあてて乾かすことはしないでください。
- お手入れには下記の溶剤等を使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ溶剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等
けんま材入の洗剤 (変質・変色する原因になります)

②フィルターを取りはずす 清掃

パネルの内側からフィルターをははずす。



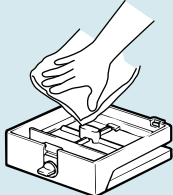
フィルター

お願い

- フィルターをははずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。

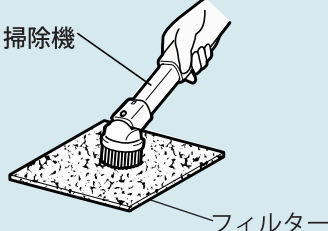
⑤パネルの汚れを清掃する 清掃

パネルの汚れは中性洗剤を湿した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。



③フィルターの清掃をする 清掃

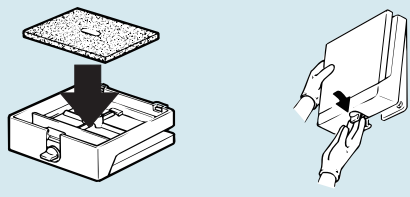
軽く手でたたかまたは掃除機でほこりを吸い取ります。



掃除機

フィルター

⑥フィルター・パネルを元通り取付ける 取付




お願い

- フィルターがないと壁や天井が汚れる原因となりますので、取付けを忘れないようにしてください。

給気用交換フィルター 型名 : P-13KQFH

給気ユニット



P-13KQU

☐給気口用
交換フィルター
壁取付φ100
P-13KQFH
5枚/1セット

上記は抜粋になります。詳細は取扱説明書をご参照ください。

給気口フィルターのお手入れのしかた (P-18WQU Φ150用) SC-V3

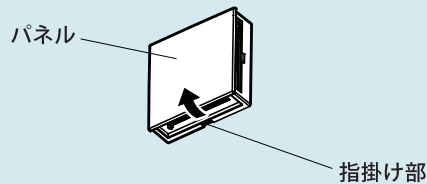
- ⚠️ 注意**
- お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
 - お手入れの際は手袋を着用する。
 - お手入れ後の部品の取付けは確実にを行う。

給気口フィルターの清掃は**2か月に1回以上**お願いします。

①パネルを取りはずす

清掃

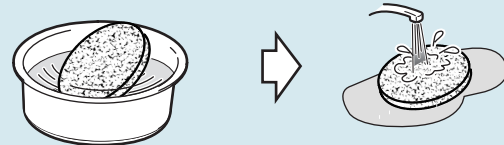
パネルを取りはずす。
パネルの下部の指掛け部に指を掛け、手前に引いて引掛け部を上側にずらしてははずします。



④汚れがひどい場合は

清掃

汚れのひどい場合は水またはぬるま湯 (40℃以下) に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かしてください。



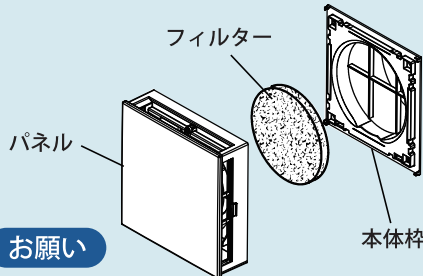
お願い

- 押し洗いをした場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。熱湯で洗ったり、もみ洗いは絶対におやめください。
- 直接火気を使用して乾かししたり、ドライヤーなどで温風をあてて乾かすことはしないでください。
- お手入れには下記の溶剤等を使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ溶剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等
けんま材入の洗剤 (変質・変色する原因になります)

②フィルターを取りはずす

清掃

本体枠の内側からフィルターをはずす。



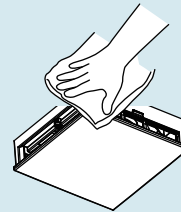
お願い

- フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。

⑤パネルの汚れを清掃する

清掃

パネルの汚れは中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。



③フィルターの清掃をする

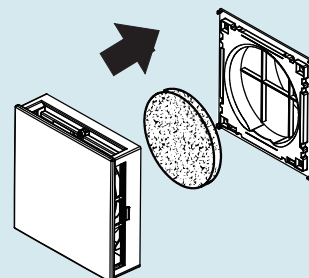
清掃

軽く手でたたかまたは掃除機でほこりを吸い取ります。



⑥フィルター・パネルを元通り取付ける

取付



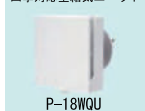
お願い

- フィルターがないと壁や天井が汚れる原因となりますので、取付けを忘れないようにしてください。

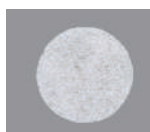
給気用交換フィルター

型名 : P-18WQF

四季対応型給気ユニット



P-18WQU



- 給気口用交換フィルター
壁取付φ150
P-18WQF
2枚/1セット

システム開発・資材供給

株式会社カネカソーラーサーキットのお家

- 各説明図・写真(一部)・イラストなどはイメージであり、撮影や印刷の関係で、実際とは色が異なる場合があります。
- ソーラーサーキット、アウターサーキット、インナーサーキット、外断熱・二重通気工法、は株式会社カネカの登録商標です。

〒107-6028 東京都港区赤坂1丁目12番32号(アーク森ビル)
TEL 03-5574-8139 FAX 03-5574-8109

- 品質改善のため、仕様、外観は予告なしに変更することがあります。
- このカタログ内容についてのご不明点は直接当社へおたずねください。

お客さまのお住まいの実際の設計、施工、メンテナンスは、当社のソーラーサーキットの実施権を受けた契約工務店が実施いたします。
詳しくは㈱カネカソーラーサーキットのお家にご相談ください。